

ダイアログ
イン・ザ・
ダーク


ダイアログ・イン・ザ・ダーク 2023年秋期プログラム 「秋を感じる 見えない東北の旅」開催決定

ソーシャル・エンターテインメント・プログラムを提供している一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ（港区・代表：志村季世恵）は、竹芝にあるダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」で常設しているダイアログ・イン・ザ・ダークで2023年9月7日（木）から11月23日（木・祝）まで秋のプログラム『秋を感じる 見えない東北の旅』を開催します。



9月から開催する秋のプログラムは、短いながらも美しい、東北の秋を探しに出かけます。

豊かな実りに感謝し、色鮮やかな木の葉を愛で、次第に枯れゆく自然の中に儚さを感じる。秋は最も五感が研ぎ澄まされる季節です。8人1グループになり、視覚障害者のアテンドと進む純度100%の暗闇の中に、情緒あふれる秋の風情をご用意しました。暗闇の中でゆっくりと開いていく五感を使い、季節の移ろいをお楽しみください。

ダイアログ・イン・ザ・ダーク「秋を感じる 見えない東北の旅」		
主 催	一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ	
開催期間	2023年9月7日（木）～11月23日（木・祝）	
体験時間	90分	
会 場	ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」 東京都港区海岸一丁目10番45号 シアター棟1F	
チケット	大人：3,850円 学生：2,750円 小学生：1,650円 （税込）	
HP	https://taiwanomori.dialogue.or.jp	
お問合せ	担当：ディアス Email: press@dialogue-japan.org TEL : 03-6231-1640	

ダイアログ・イン・ザ・ダークとは

純度100%の真っ暗闇の中で、見ることを除く以外の感覚を使い、驚きに満ちた発見をしていくエンターテインメント。体験を案内するのは、普段から目をつかわない視覚障害者のアテンド。視覚以外の感覚を広げ、新しい感性を使い、チームとなった方々と様々なシーンを体験する。1988年、ドイツの哲学博士アンドレアス・ハイネッケの発案によって生まれ、これまで世界47か国以上、900万人以上が体験。日本では1999年に初開催し、24万人以上が体験した。現在は東京・竹芝のダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」、東京・神宮外苑「内なる美、ととのう暗闇。」にて体験が可能。

HP: <https://did.dialogue.or.jp/>

ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」コンセプト

みえないからこそ、みえるもの。聞こえないからこそ、聴こえるもの。老いるからこそ、学べること。目以外の感性を使い楽しむことのできる「ダーク」では、見た目や固定観念から解放された対話を。表情やボディランゲージで楽しむ「サイレンス」では、言語や文化の壁を超えた対話を。そして「タイム」では、年齢や世代を超え、生き方について対話をします。世代。ハンディキャップ。文化。宗教。民族。世の中を分断しているたくさんのものを、出会いと対話によってつなぎ、ダイバーシティを体感するミュージアム。この場で生まれていく「対話」が展示物です。

HP : <https://taiwanomori.dialogue.or.jp/>